

## ニュージーランド海域におけるスルメイカ漁場の開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010234">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010234</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



## ニュージーランド海域におけるスルメイカ漁場の開発

本部 開発調査部 開発調査一課

### 開発調査の背景・目的

海洋水産資源の開発及び利用の合理化のための調査  
いか釣り：南太平洋西部海域

1. 南太平洋西部海域においてニュージーランドいか釣り漁場の再開発を図ることにより、北太平洋中・東部海域においてアカイカ漁場との組み合わせた効率的な周年操業の可能性を追求します。

### 調査結果

1. ニュージーランドスルメイカの相対的に漁獲が多かった表面水温帯は、同一水域では昨年度とほぼ同様の傾向にあり、表面水温を指標とした漁場探索の可能性があることが示唆されました。

2. 1月上旬～4月下旬にかけてNZ南島北西から北側にかけての水域、スレーナス島南東水域、ベリアンバンク、カンタベリー湾の4水域に持続性のある好海域を確認しました。
3. 月の経過に伴い大型化する傾向にあり、魚体サイズを勘案して操業を適切な時期に行うことで、企業化の可能性があると判断されました。
4. これら調査船の情報をもとに4隻の当業船が当該水域に入域し操業を行いました。

### 波及効果

1. 日本のいか釣り漁船のために新たな漁場の確保に貢献します。
2. 我が国の食料自給率の向上に貢献します。



ニュージーランドスルメイカ

オーストラリアスルメイカ

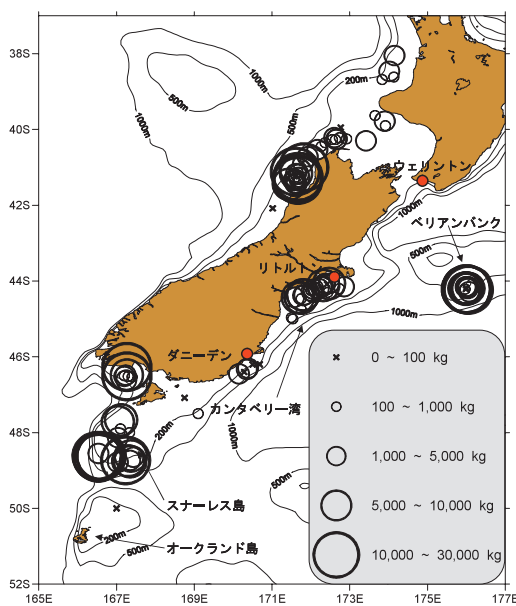


図1 操業日あたり漁獲量地理的分布

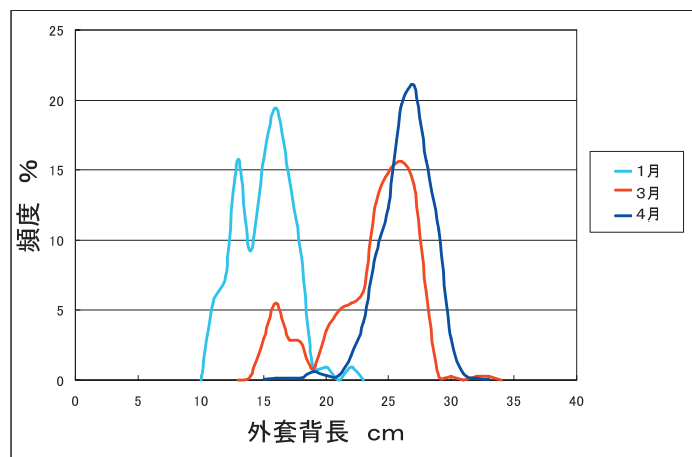


図2 外套背長月別推移図

⑨ 海洋水産資源の開発及び利用の合理化に関する情報及び資料の収集及び提供・平成16年度に作成した開発調査報告書，開発ニュース，広報誌は，全て電子ファイル化しました。

- 調査船の操業漁獲日報は，関係する漁業団体，船主，大学等に配付しました。
- 水産情報展示室所蔵資料について，35,657件のうち27,186件（76％）の電子検索を可能としました。
- 平成15年度開発ニュース（速報）11編，平成16年度開発ニュース（速報）3編，平成15年度開発調査報告書8編を刊行し，関係機関に

配付しました。また，平成15年度調査結果の概要11件をホームページに掲載するとともに，事業現地検討会等において調査結果を報告して成果の普及を図りました。

- 子ども霞ヶ関デー（H16.8），農林水産祭（H16.11）等に4件出展参加するとともに，広報誌1編を刊行しました。また，水産情報展示室の通年一般公開を行い，801件の利用があったほか，魚類のはく製及び記録映画等の視聴覚素材の貸し出し235件，新聞，テレビ局等のマスコミ取材への対応60件を実施しました。